

2023 年度

事業計画書

学校法人 正和学園 小規模保育所 つながりづくり保育園・原町田プラス

1、基本理念

「いきいき」

私たちは、子どもたちがいきいきと躍動感にあふれる姿を見せることこそが健全な保育が実施されている証明になると信じます。

こどもの成長・発達に寄与する人はすべて保育者と考えます。

2、保育方針

「こども中心」

- ①子どもたちは健全に育つ力を持っています
 - ②子どもたちは素敵な学び手です。
 - ③子どもたちは未来を築く参加者の一員です。
 - ④好奇心、創造力、感動力において、子どもたちは大人の知らない世界を感じとっています
 - ⑤多様性こそが、力強く新しい未来をつくる大きな要因です。
- 私たちは、これらの事実を認め、こどもの育ちを中心に保育を展開しています

3、保育目標

上記の基本保育方針を達成するため、次の保育目標を掲げ日々の保育を行います。

- ① 子どもの生きる力を引き出す保育
- ② 一人ひとりの「あそびと生活」に寄り添う保育
- ③ まちぐるみの保育を社会・家庭・こどもとともに展開する保育

4、施設事業運営

(1) 入所児童数 (5月1日)

[つながりづくり保育園・原町田プラス]

1才児 9名 (定員9名)

2才児 10名 (定員10名)

一時保育児 5名 (定員10名)

(2) 開所時間

7:00～19:00

【教育時間】

保育標準時間

7:00	18:00	19:00
最大11時間 (利用可能な時間帯)		延長保育

保育短時間

7:00	8:30	16:30	19:00
延長保育	最大8時間 (利用可能な時間帯)	延長保育	

(3) 保育料

保育料町田市に一任。延長保育料は以下のとおり。

30分:100円

おやつ代 (18:10):110円

5、児童の処遇

(1) 教育・保育内容

教育・保育計画に基づき、養護と教育が一体となった総合的な活動を展開する。

養護	* 子どもの安全・健康管理には十分配慮し、落ち着いた環境の中で生活できるように環境・設備を整える。 * 一人ひとりの家庭環境・発達状況に応じ、基本的な態度が身につくようにする
人間関係	* 人とのかかわりの中で、人を思いやり、人に感謝する気持ちを育てる
言葉	* 喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を育てる

遊び (自然) (表現)	<ul style="list-style-type: none"> * 運動——身体を使った遊び。 * 構造——玩具を組み合わせるなど構成する遊び。 * 創造——イメージを膨らませて表現する遊び。 * 想像——模倣・世話・役割遊び。 * 言語——言葉に関する遊び。 * 音楽——音楽に関する遊び。 * 感覚——互換・操作・探索遊び。農園・栽培活動。
--------------------	--

※園だより「よくばりな日々」・ほげんだより・つながり給食だよりを毎月配信

※その他日々の連絡について、1～2歳児は各自の連絡を密にする。その日の活動内容・様子等をブレインにて、保護者に配信。

※ドキュメンテーションやポートフォリオ、ストーリーパークなどの「保育の見える化」

(2) 主な行事

* 日本古来から伝わる風習を伝え、社会への関心を持たせるためにいろいろな行事を行い、地域にも開放。行事予定については別紙参照。

* 年間を通して、地域とのつながりを大切にする地域交流、子育て応援コミュニティの場づくり

* オンライン、または対面にて保護者会、個人面談、入園前説明会、入園式等の開催。必要に応じて随時、面談。

(3) 健康管理

保健年間計画に基づき実施する。

【年間目標】

* アレルギー児体質の園児に対しては、主治医の指示のもと、園と保護者が話し合い対応。

* 与薬についても主治医の指示のもと、園と保護者が話し合い対応していく。

* 園内や地域で感染症が発生した際は、その状況・病状について、掲示し、情報提供する。

* 感染症対策

* 新型コロナウイルスへの影響（町田市・保健所の指示に従う）

* 多様性に応じた食事の提供(宗教食対応が必要な園児に対しては、園と保護者が話し合い対応)

【健康診断・健康管理】

項目	実施回数	実施者
定期健康診断	年2回	嘱託医
歯科検診	年1回	町田歯科医師会
健康・衛生管理・指導	随時	本園看護師と連携による

(4) 栄養管理・食育目標

・給食年間計画の見直し。

・食品使用品目の見直し。

・正和学園の「もぐもぐシリーズ」の開発を促進協力する。

・「食べる」ことの楽しさ、喜び、意欲、を育む。

・旬の食材を知り、活動の中で発見できるよう配慮し、活動の幅を広げていく。

- ・できるだけ自然食品や安全食品を取り入れる。(産地が分かるよう配慮する)
 - ・季節の食材を使用し、いろいろな食品に慣れるよう調理方法を工夫する。
 - ・咀嚼の発達を促すため、噛みごたえのある小魚(いりこ)等を提供する。
 - ・行事食にも力を入れ、日本伝統食文化を伝えていく。
-
- ・アレルギー児や宗教食、その日の体調に配慮し、個別対応食を用意する。
 - ・毎日の献立の掲示、献立表・おたよりの配信を通し子どもの食育活動の様子や適正量・調理方法などを保護者に伝える。
 - ・自主性を大切に自分から食べたいという意欲を育て、適正量を考えられるよう配膳方法など工夫する。
 - ・安定感とぬくもりのある陶器の食器を使用する。
 - ・温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たくし、おいしく食べられるように工夫する。
 - ・給食献立と保育の融合を図り、子どもたちへの保育活動を広げる。
 - ・9月引渡し訓練の日は、災害時用備蓄食を使用し、職員全体で学び合う。

6、災害対策・安全管理

(1) 災害対策

- *BCP 計画策定実施
- *毎月、火災・地震・自然災害を想定し、避難訓練(交流保育時も含む)を行う。避難場所への訓練実施。
9月には保護者協力のもと引き取り訓練を行う。
- *AED 研修 SIDs・SUDI 午睡チェック
- *管轄の消防署に報告書を提出。
- *防災用品の一覧表を作成し、管理・補充を行う。
- *緊急連絡カード・「子どもの見守りカード」を使い、引き渡しなどの確実性を向上する。
- *通報訓練の実施
- *被災時における対応の備蓄

(2) 安全管理

- *監視カメラで園周囲を監視し、防犯カメラで録画。玄関・各門の出入りは事務室からモニターで監視。
- *遊具・園舎の安全管理・事故防止マニュアル・チェック表作成、記録。
- *学校 110 番設置 アルソック非常ボタン設置
- *不審者対応訓練を年 1 回以上行う。
- *お散歩マップ見直し・置き去り事故を未然に防ぐ対策
- *年 2 回、外部業者による消防設備点検

7、職員の処遇

職員の処遇については、仕事と家庭生活が両立でき、個々が生きがいを持って働くことができる職場作りに努める。

長く働けるように、休暇や産休・育休、短時間勤務、家族の看病のための休暇も取りやすい職場づくりをする。
職員休憩所として原町田ラウンジを利用。

「処遇改善1・2及びキャリアアップ補助金」を活用し、職員の給与の処遇改善のみならず、より明確な組織とキャリアパスを目指す。また、外部研修や関係園などとの合同研修や相互見学などを通し、保育者自身のモチベーションアップにつなげていく。

(1) 採用・産休等

職名	氏名	雇用区分	変更年月日	備考
施設長	—	正規	2023.4.1	つながりづくり保育園・αより異動
保育士	—	正規	2023.4.1	町田自然幼稚園より異動 育休復帰
保育士	—	正規	2022.3.4.1	花の木保育園より異動
保育士	—	非正規	2023.4.1	つながり保育園・まちだより異動
保育士	—	非正規	2023.4.1	つながりづくり保育園・βより異動 6月末まで
保育士	—	非正規	2023.4.1	つながり保育園・まちだより異動。 育休中 8月復帰予定

【育休】折井 桃江 【産休予定】なし

(2) 職員の会議

会議名	開催日	参加者
職員会議	月1回	全職員
保育会議・行事打ち合わせ	随時	担当職員
給食会議	月1回	施設長・担当職員・給食職員
看護師会議	月1回	施設長・看護師
管理職会議	月1回	施設長
保育会議	月1回	施設長・コーディネーター
運営管理・事務連携会議	月1回	施設長・事務職員
振り返りの時間	毎日（土曜日除）	担当職員
委員会	月1回	担当職員
つながる会議	2カ月に1回	1年目以上の職員

(3) 職員研修計画 正和学園全体研修を実施予定。

2023年度は1～4木育おもちゃの広場など年目の職員を中心に保育環境研修、チームビルディング研修を重点的に実施予定。

また、キャリアパスに応じたスキルアップの明示などと連動した、処遇改善の仕組みや、委員会の計画内容を体系的に実施することで、各職員に応じた資質向上の取り組みにインセンティブを与えられるよう委員会の内容に施設長は配慮する。

8、苦情解決システム

地域・保護者からの意見・要望・苦情を受け付け、記録を確実にとり、ふりかえり、次への対応を全職員と共有

し、保育サービスの向上に努める。

9、子ども家庭支援事業

- *つながりひろば（おはなしポン・こどもヨガ・木育おもちゃの広場など）の開催
- *つながる日の開催
- *地域活動事業 次世代育成事業 育児不安の軽減 ふれあい事業 ゆったりラウンジカフェ

10、施設・設備整備関係（課題を順次解消）

- *事務室配置換え
- *異年齢保育に沿った室内環境の充実
- *主体性を持ったコーナーあそびの環境整備

11、自己評価

- *施設職員の自己評価
- *運営・安全対策・保健衛生・給食関係の自己評価
- *保護者用第三者評価実施予定。保護者アンケートの実施
- *日々の振り返りの充実
- *不適切保育排除対策

12、新規の取り組み

- *伴走型子育て応援
- *正和学園による、NPO いきいきまちだ での活動
- *保護者対象の対話の場づくりを行う。ポラリスさん・子ども哲学対話と共催
- *地域の助産師による、母親父親の産前産後の子育てへの不安解消とコミュニティの場づくり
- *BCP 計画の策定・実施
- *食育(和食)の充実(ユネスコ無形文化遺産 10 周年)
- *誰でも使える「みんなの保育園」